

ジャパン・プラットフォームによる 東日本大震災 被災者支援

2011年9月5日

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム

〒100-0004

東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル266区

info@japanplatform.org

TEL 03-5223-8891

FAX 03-3240-6090

東北事務所

〒980-0811

宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1

仙台第一生命タワービル18F

JPFならではの機能

「スピードのある対応」

(今必要な物資、情報、資金を)

「支援をつなぐ」

(企業とNGO、支援者と被災地)

「現場中心の視点」

(被災地の住民ニーズや思いありき)

震災直後の対応クローロジー 1

○ 出動決定まで

3月11日

- **14:46** **地震発生** (助成審査委員会の開催中)。その後も断続的な強い余震。JPF事務局のスタッフ・備品に被害なし。スタッフ家族への安否確認
- 16:13 JPF関係者へメールリングリストでJPF被害なしを連絡。各NGOからの安否の照会
- ~ 各JPF加盟NGOに対応状況の照会
- **17:32** **JPF出動決定**
(マグニチュード9.0の大地震から2時間46分後)
- 17:45 [ソフトバンクモバイル](#)より携帯電話の無償貸出のお申し出

震災直後の対応クロノロジー 2

○出動決定後の動き

3月11日

- 17:41 JPF出動決定を対外発信(支援者へメール、ウェブなど)
- 18:20 プレスリリース発信
- 18:38 寄付金口座の設置。寄付の呼びかけ開始
- 18:49 [三菱東京UFJ銀行](#)よりJPF寄付金口座への振込手数料無料化のお申し出
- 18:59 [パブリックリソースセンター](#)より“Give One”を通じたオンライン寄付立ち上げのお申し出
- 19:28 [三井物産](#)より(初動対応費用として)JPFへ1,000万円拠出決定の連絡
- 20:44 [出動決定団体\(AAR、ADRA、CF、NICCO、PWJ\)](#)を対外発信
- 23:45 在日のいくつかの大使館に英語版のプレスリリースを発信
- 23:55 [花王](#)よりJPFへ1,000万円拠出決定の連絡

3月12日

- 01:30 [日産自動車](#)よりJPFへ3,000万円拠出決定の連絡

これまでに助成した支援活動について（JPF参加NGO対象のみ）

2011年8月9日現在

初動・ニーズ調査

1,424万6,165円
8件

本格的な支援のための調査など

- Civic Force
- 災害人道医療支援会
- 日本レスキュー協会
- 日本国際民間協力会
- ピースビルダーズ
- ピースウィンズ・ジャパン
- SEEDS Asia

教育支援

4億1,110万1,634円
4件

学用品の配布
就学環境の整備
スクールバスの整備
など

- 国境なき子どもたち
- セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- シャンティ国際ボランティア会

医療・公衆衛生支援

2億1,404万9,989円
3件

医療支援、巡回診療
害虫等の防除作業
など

- 災害人道医療支援会
- 日本国際民間協力会

その他

5,545万9,400円
2件

外国人・女性被災者
に対する法的支援など

- 難民支援協会

情報収集・IT支援

8,955万9,959円
2件

被災者の情報ネット
ワーク構築など

- BHNテレコム支援協議会

地域復興支援

10億5,812万4,061円
6件

清掃、瓦礫撤去
ボランティアコーディネート
避難所運営
障がい者、高齢者支援
子どもの心理社会的サポート
など

- 難民を助ける会
- パレスチナ子どものキャンペーン
- 国境なき技師団
- アジア協会アジア友の会
- ジェン
- 日本国際民間協力会

食糧・物資支援

26億2,945万8,669円
15件

炊き出し、
栄養改善のための食事の調理・配給
物資配布
仮設住居等への入居時生活物資配布
など

- 難民を助ける会
- ADRA Japan
- ブリッジ エーシア ジャパン
- パレスチナ子どものキャンペーン
- ICA文化事業協会
- アジア協会アジア友の会
- 難民支援協会
- ジェン
- 国境なき子どもたち
- パルシック
- ピースウィンズ・ジャパン

東日本大震災被災者支援：事業展開（JPF参加NGOのみ）

2011年8月9日現在

事業終了 事業実施中



BHN (BHNテレコム支援協議会)
 通信インフラ整備、物資配布@岩手(3/22~8/21)
 飯舘村被災者支援情報ネットワーク(6/23~12/22)

JAR (難民支援協会)
 初動調査@岩手(3/19~3/21)
 外国人被災者への支援・保護(3/30~6/7)
 外国人被災者支援、ボランティア派遣等(6/8~12/7)

SCJ (セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)
 学用品の配布@岩手、宮城(6/8~9/30)

JEN (ジェン)
 初動調査、物資配布@石巻(3/12~3/19)
 瓦礫等撤去@石巻管区(4/30~10/29)
 生活必需品配布@石巻(5/23~11/22)

ADRA (アドラ ジャパン)
 生活必需品配付@福島県(5/26~11/25)

HuMA (災害人道医療支援会)
 初動調査@宮城(3/17~3/21)
 医療支援、医薬品提供(3/22~4/30)

ICA (ICA文化事業協会)
 初動調査、物資配布@宮城、福島(3/18~3/31)
 物資配布、ワークショップ(4/6~5/15)

KnK (国境なき子どもたち)
 初動調査、物資配布@岩手県沿岸部(3/25~4/12)
 緊急教育支援@岩手県沿岸部(4/21~7/26)
 緊急教育支援2@岩手県沿岸部(7/15~9/13)

GNJP (グッドネーバース・ジャパン)
 漁協復興支援@大槌町(7/25~1/24)

PWJ (ピースウィンズ・ジャパン)
 初動調査、避難所設置@岩手、宮城(3/12~3/25)
 仮設住宅支援@陸前高田、大船渡、釜石(4/30~10/29)

BAJ (ブリッジ エーシア ジャパン)
 食事調理と配給@岩手・大船渡、陸前高田(5/20~10/4)

CCP (パレスチナ子どものキャンペーン)
 初動調査、物資配布@岩手県沿岸部(3/21~4/11)
 心理社会的サポート、避難所運営支援、物資配布(4/15~9/14)

JAFS (アジア協会アジア友の会)
 初動調査、炊き出し@南三陸町、気仙沼(3/20~3/28)
 炊き出し、物資配布、足湯提供@南三陸町(3/29~5/12)
 物資配布、情報紙作成、子どもサポート@南三陸町(6/17~9/27)

NICCO (日本国際民間協会の)
 初動調査@岩手・陸前高田、宮城・名取(3/12~3/20)
 医療支援、物資・トイレ・通信の提供@陸前高田、名取、岩沼(3/22~4/25)
 ボランティアコーディネートによる炊き出し、清掃・がれき撤去@陸前高田市、気仙沼市(4/26~9/25)
 ペストコントロール@気仙沼、陸前高田、大船渡、その他沿岸部13市町村(6/3~12/2)

AAR (難民を助ける会)
 初動調査及び物資配布@岩手、宮城、福島(3/13~3/26)
 生活必需品配付@福島県(5/20~11/19)
 障害者・高齢者支援@岩手、宮城、福島(6/1~12/31)

JRA (日本レスキュー協会)
 被災者捜索、救出救助@岩手(3/15~3/24)
 犬引取り、預かりニーズ調査@岩手、宮城(4/10~4/15)

CF (シビックフォース)
 初動調査@岩手、宮城(3/12~3/14)

PARCIC (パルシック)
 物資配布@宮城・石巻市周辺(3/30~5/31)

PB (ピースビルダーズ)
 初動調査、物資配布@岩手、福島(3/24~4/17)

SEEDS (SEEDS Asia)
 初動調査@岩手、宮城(4/1~4/5)

SVA (シャンティ国際ボランティア会)
 文具配布@気仙沼市(4/15~5/15)

©2010 Google

被災者支援4者連絡会議

政府現地
対策本部

自衛隊

みやぎ連携復興センター(れんぷく)

県災害ボランティアセンター

県災害対
策本部

県社協

つなプロ

JPF

せんたい・み
やぎNPOセン
ター

パーソナルサ
ポートセンター

仙台JC

自衛隊

市・町災害
対策本部

市・町社協

JPF

NG
O

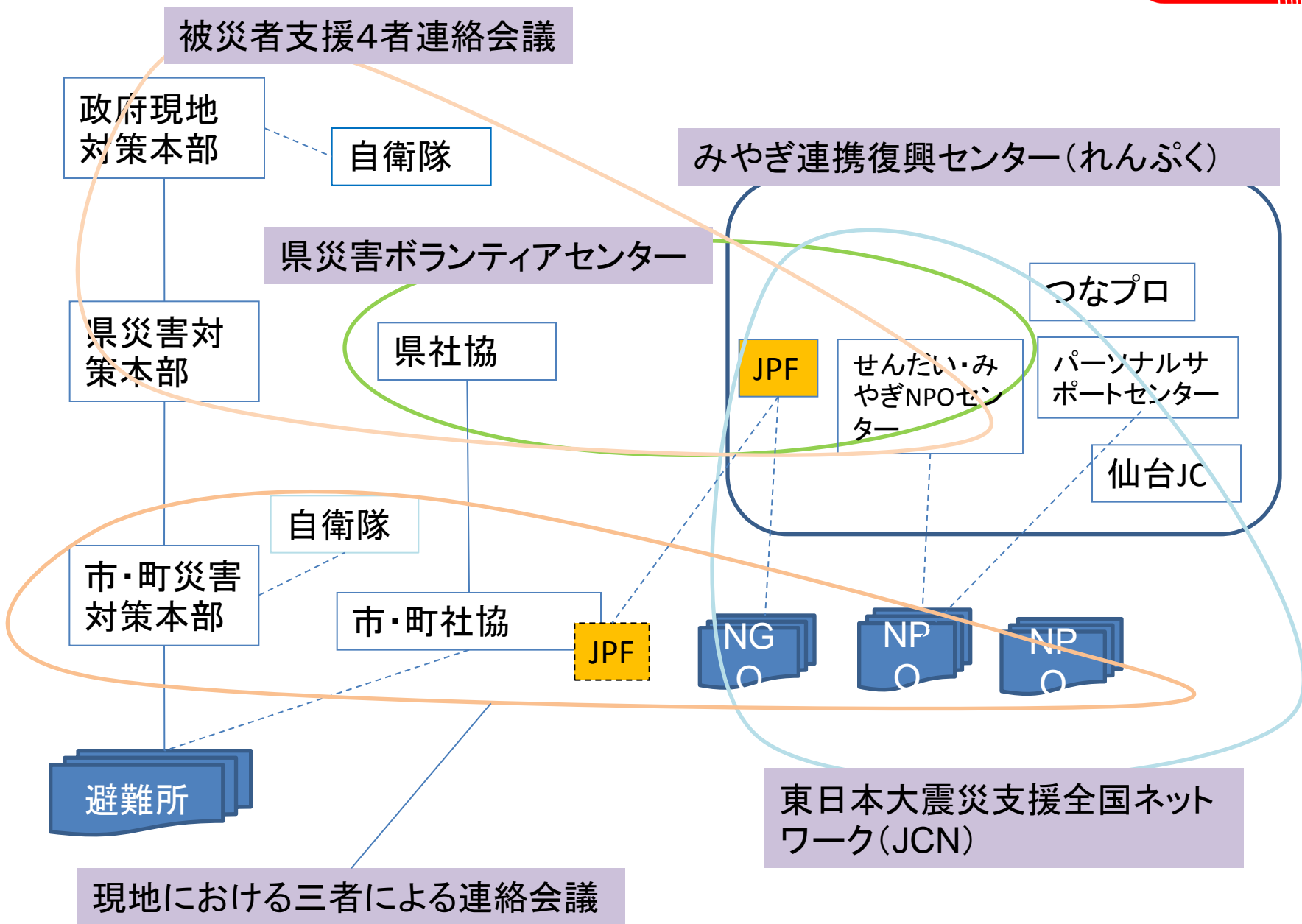
NP
O

NP
O

避難所

東日本大震災支援全国ネット
ワーク(JCN)

現地における三者による連絡会議



「被害者支援連絡調整会議(仮称)」(案)

報告

被災者支援連絡調整会議

報告

各分野別、地域別検討会議の報告を受けフォローアップを行う

(被災者支援分野別検討会議例)

(被災者支援地域別検討会議例)

漁業分野

障がい者分野

教育分野

中小企業分野

⋮

石巻市

気仙沼市

南三陸町

⋮

各分野別・地域別
検討会議は相互に
連携し情報共有を
行う

物資のマッチング

物資のお申し出はJPFホームページから
<http://122.200.228.172/mtnews/2011/03/110325-1.html>

お申し出／要請



ニーズ確認／リクエスト

企業とNGOのマッチ数: 147組

お申し出: 136社・727品目



企業・団体・外国から

JPF加盟NGO＋地元団体など



被災者のお手元へ

「共に生きる」 ファンド

東日本大震災に取り
組む非営利法人
を応援します

東日本大震災の被災者の方々の「自立」「共生」「こころ」を支えることを目指し、東日本大震災の支援活動のためJPFへお寄せいただいた寄付金を財源として、支援活動に共に取り組む団体(非営利団体)をサポートさせていただくことになりました。それが「共に生きる」ファンドです。http://www.japanplatform.org/area_works/tohoku/ngo.html
既に第1～4回の応募期間が終了し、第5回の応募期間は9月以降の予定です（決まり次第発表します）。

第1回	ホップの森	¥6,500,000	イベント開催
	遠野山 里暮らしネットワーク	¥4,600,000	福島県内での野菜の買い上げと被災地への輸送
	地球市民ACT	¥1,540,000	ワークショップ開催、災害ボランティア育成、炊き出し
	市民活動センター神戸	¥3,000,000	情報収集、地元NPOとのネットワーク構築、提言及び情報発信
	シーズ 市民活動を支える制度とつくる会	¥6,527,000	支援制度に関する情報収集、分析、整理からWebサイトを通じた情報収集
	情報環境コミュニケーションズ	¥5,000,000	避難所等へのインターネット接続環境の提供、ボランティアセンターへのIT支援
	POSSE	¥5,000,000	仮設住宅への移転の支援
	NPO愛知ネット	¥10,000,000	イベント開催
第2回	中越防災安全推進機構	¥6,929,000	広田半島の復興に向けた体制・ネットワークづくり
	森のライフスタイル研究所	¥5,120,000	海岸保安林の復旧整備、復旧整備された場所への植樹
	国際支援地球村	¥997,960	交通手段のない老人世帯等への買物代行
	アットマークリアスNPOセンター	¥4,331,925	被災した商店街の再建・復興
	パーソナルサポートセンター	¥8,350,000	仮設住居入居者への暮らし再建支援
	石巻災害復興支援協議会	¥918,200	寝具の乾燥・交換
	日本社会福祉士会	¥5,500,000	被災地の地域包括支援センター等へ社会福祉士を継続的に派遣
	ピースポート災害ボランティアセンター	¥10,000,000	炊き出し、キッチンシステムの購入、飲食店の修理工装
第3回	温真会 中土幌児童ステーション	¥500,000	岩手県を中心に子育て支援を実施
	やまだ共生会	¥4,000,000	被災地障害者生活支援事業
	法政大学	¥9,858,661	東日本大震災被災地自治体公文書救出保全事業
	教育支援グループEdベンチャー	¥3,149,850	被災地域の学校における理科室再興プロジェクト
	石巻災害復興支援協議会	¥3,045,200	石巻市の避難所における衛生改善事業
	オンザロード	¥10,000,000	東日本大震災復興支援プロジェクト
	パーソナルサポートセンター	¥7,470,000	仙台市 絆と安心プロジェクト 安心見守り協働事業

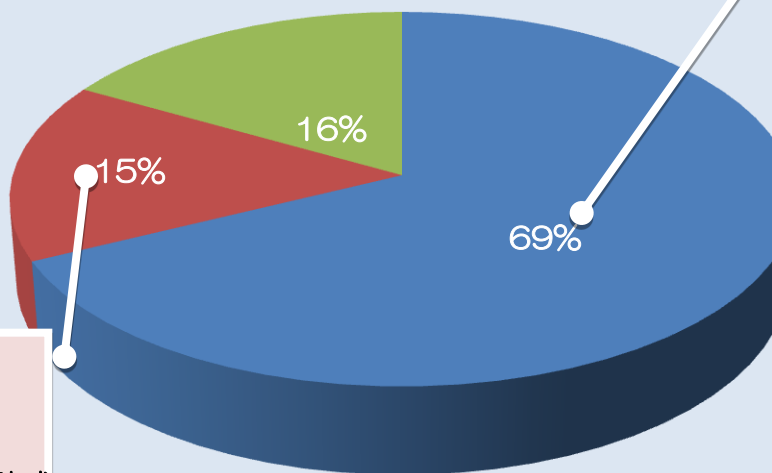
これまでにジャパン・プラットフォームに寄せられた寄付とその用途について

総額：64億9,776万9,607円★

★2011年7月31日現在の入金額

これから活用する資金など

10億2,576万9,730円



これまでの加盟NGOへの助成額

44億7,199万9,877円

すでに助成が決定した40事業の合計額となっています。

「共に生きる」ファンドによる助成

10億円
(内、助成決定額
1億2,233万7,796円)

JPF初動対応期評価ミッション

- 目的

初動対応期のJPF事業の評価を通じ、

- ①東日本大震災の復旧・復興期においてJPFが果たす役割について提言する
- ②将来の国内災害対応について教訓を引き出す

- 評価対象

- ①期間: 初動対応期(6月11日までの3ヶ月間)

- ②内容(評価担当者):

 - 成果1「避難生活支援」(御茶ノ水女子大学講師 桑名恵)

 - 成果2「仮住まい移行支援」(関西大学准教授 越山健治)

 - 成果3「調整・後方支援」(人と防災未来センター主任研究員 阪本真由美)

 - 成果4「災害弱者支援・地域性への配慮」(大阪大学大学院准教授 石井正子)

- 主な評価方法

- ①現地調査(およそ5日間)

- ②関係機関先訪問(被災地外)

- ③アンケート調査

将来の国内災害対応への教訓

- 災害救助法の確認とJPFの国内災害対応戦略の策定の必要性
- 海外の支援団体、行政と国内の民間支援団体（NGO・NPO）との調整機能の強化
- 災害弱者支援の強化

復旧・復興期の提言

- きめ細やかな仮住まい移行支援
- 医職習遊の復旧・復興
- 「共に生きるファンド」の有効活用
- 情報収集・発信能力の強化
- 災害弱者支援の継続

今後の活動分野案

- 生業支援（仕事）
- コミュニティ支援（町づくり）
- セーフティネット支援（個人）
- コーディネーション&サポート（つながり）